



安全就業ニュース



すべての災害は防ぐことができる

◆蜂に刺されないための対策◆

蜂が活発に動き回るのは、巣を作って繁殖する春から秋にかけてです。特に夏は、屋外での作業や庭仕事の際十分に気をつける必要があります。蜂は日中、餌を求めて巣の外で活動するので、見かける機会も増えます。日没後には、巣で休んでいます。

●肌を出さない、黒っぽい服装を避ける、蜂を刺激する行動を取らない

蜂は、一定の色の識別ができるといわれており、黒っぽい色、濃い色には強く反応します。蜂が近くに来て、棒や手で振り払うのは危険です。攻撃したと誤解され襲われることがあります。大声を出すのも避けたい行動です。

●もし蜂に刺されたら ※アンモニア水、尿は蜂毒には効果がありません

その場を離れて安全を確保する。
毒針が残っていたら速やかに取り除き、患部の周辺を指で強くつまみ、毒を出す。
冷水で患部を冷やし、毒が体内に回るのを抑制する。
赤く腫れ始めたら、抗ヒスタミン軟膏を塗る。



●目の回りを刺されたり、気分が悪くなったりしたら

すぐに病院に行く。119番通報をし、一刻も早く医師の手当を受ける。

※アナフィラキシー反応は、過去に蜂に刺されたことのある人が再び刺された場合に起きます。

◆身体機能の変化を認識しましょう◆

加齢に伴い疲労回復力や感覚機能・平衡機能が著しく低下します。この変化を自覚していないと、無理な行動につながり事故に遭う可能性が高くなります。心身ともに無理な負担をかけないように、病気や事故の予防と健康管理に努めましょう。

1. 予備力の低下・・・加齢に伴い予備として持っている力が低下するので身体に無理がきかず、それを押して就業すると、身体に支障を起すことがあります。
2. 回復力の低下・・・無理をすると疲れが取れにくく、体力の回復が遅くなります。疲労を蓄積させないように、時間に余裕を持って就業の計画を立てましょう。
3. 防衛反応の低下・・・病気に対する抵抗力も低下するので、ちょっとした風邪なども予防が必要です。外出から帰ったら手洗い、うがいをしましょう。
4. 適応力の低下・・・心身ともに外部の環境の変化（寒暖、湿度等）に適応できず動作が緩慢になるため、事故を招くこともあります。



出典:安全就業のためのチェックポイント(全シ協)



お客様から、お礼の声が多数寄せられています。そのうち2件をご紹介します。就業先:上後藤と錦町のお客様より「猛暑の中、きれいに除草していただきありがとうございました」「剪定して下さった会員にお礼を」とお礼の電話をいただきました。

発行：公益社団法人米子広域シルバー人材センター 〒683-0811 米子市錦町1丁目110

電話 0859-32-2633 FAX 0859-32-5823 E-mail yonago@sjc.ne.jp

ホームページ <https://yonago-sjc.net/> フェイスブック <https://www.facebook.com/yonagosc>



安全はすべてに優先する

～ 安全就業の心得 みんなで守ろう10箇条 ～

- ①日頃から健康管理に努め、常に健康な状態で就業しましょう。(年に1回は健康診断を)
- ②仕事の前日は十分に睡眠をとりましょう。
- ③服装・履物・保護具はそれぞれの作業に適したものを着用しましょう。
- ④仕事を始める前には準備運動をしましょう。
- ⑤保護具や器具類は使用する前に必ず点検しましょう。
- ⑥加齢による身体の機能低下を十分認識し、無理をしないようにしましょう。
- ⑦仕事をするときには急いだり、慌てたりせず、安全第一を心がけましょう。
- ⑧就業の場は常に整理整頓を心がけましょう。
- ⑨共同で仕事をするときには、合図・連絡を正確に行いましょう。
- ⑩行き帰りも仕事のうち、交通事故に遭わないようにしましょう。



就業上の注意事項について

～発注者からのクレーム、トラブルを防ぐために～



1. 発注者との事前の打ち合わせは必ず行ってください
「作業日時」「作業時間」など、丁寧な説明を心がけてください。
2. 就業報告書は正しく記入し、早めに提出をお願いします。
※白紙の就業報告書に押印を求める行為は、絶対にしないでください

センターが受注処理していない仕事を終了し、就業報告書の提出がなされた場合は、「無届就業」であり、センターが受注し会員に提供した仕事に該当しません。
このことは、明確な「センター就業規約」違反であり、最終的には、定款に基づき処分の対象となるような重大な規律違反です。

また、センターが受付をしていない「無届就業」についての事故やトラブルは、センターの評判を下げるだけではなく、対応についても各会員の自己責任で解決していただくこととなります。また、シルバー保険も適用されませんので、厳に慎んでください。

発注者から直接仕事を依頼された場合は、必ずセンター事務局に連絡をするか、発注者から直接事務局へ申込みをするよう説明してください。

安全はすべてに優先する・・・声かけを行うなど周囲の状況を確認しながら作業を行ってください

◎仕事をするときには急いだり、慌てたりせず、安全第一を心がけましょう

◎共同で仕事をするときには、合図・連絡を正確に行いましょう

熱中症を予防するには、どうしたら良い??

- ・無理をせず徐々に身体を暑さに慣らしましょう
- ・室内でも温度を測りましょう
- ・体調の悪いときは特に注意しましょう



気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	
35℃以上	31以上	運動は原則中止
31～35℃	28～31	厳重警戒 (激しい運動は中止)
28～31℃	25～28	警戒 (積極的に休憩)
24～28℃	21～25	注意 (積極的に水分補給)
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)

※事故が発生した場合、すみやかに事務局に電話連絡してください(☎ 0859-32-2633)

一刻を争う場合は、迷わず「119番通報」して救急車を呼んでください

